

外部評価実施方法（案）

1. 概要

令和8年度からスタートした第6次総合計画基本計画では、河内長野市の「10年後のめざす姿」の実現に向けて、18のビジョンと54のプランにより、主な取り組みの方向性等を定めています。この54のプランが、評価対象です。

2. 市の行政評価の体系

市では、54のプランに紐づく主な事業の実績を踏まえ、各プランに対する「プラン評価」を実施します。

	評価対象
プラン評価	第6次総合計画基本計画の54プラン

3. 外部評価の実施について

市で行った行政評価（内部評価）の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、第6次総合計画を効果的・効率的に推進し、「10年後のめざす姿」の実現を図ります。

4. 重点プランの選定による集中評価

行財政評価委員会の会議の場で、54プラン全てを評価していただくことはできません。そこで、外部評価は54プランが属する18のビジョンを3分割し、3年ごとに外部評価をいただくサイクルを考えています。事前に6ビジョン分のプラン（20前後）の書面評価を行うとともに、ヒアリングを希望する重点プランの選定を委員の皆様を選定いただき、会議当日はヒアリング希望対象プラン（プラン数検討中）を追加評価し、追加評価分については対面の結果を踏まえて書面評価を更新し、評価結果としたいと考えています。

ビジョン		R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
1 プラン 事業											
2 4 14											
3 4 13											
4 3 9	外部評価				外部評価			外部評価			
5 3 5											
6 3 4											
7 5 14											
8 3 9											
9 3 5											
10 4 12	外部評価				外部評価			外部評価			
11 3 8											
12 3 4											
13 4 12											
14 4 14											
15 4 12											
16 3 7											
17 3 6	外部評価				外部評価			外部評価			
18 3 5											

（第6次総合計画総括）
外部評価

(1) プランの選定

毎年平均約 20 のプランを書面審査いただくことになります。その中で、対面によるヒアリング審査を希望するプランを、約 20 の中から各委員 5 プラン、順位付けをして選出していただきます。

各委員の選出プランを、順位付けにより数値化し、得点数の高い順に 3～6 プラン（件数は会議運営を踏まえ調整中です）を選定します。

(2) 質問の準備

各委員の皆様には事前に選定プランを共有します。会議開催までに当該プランの対象部局への質問を準備いただき、事前に共有いただきます。当日の会議をスムーズに執り行うため、事前の質問項目を担当部局に伝達します。

(3) ヒアリング当日

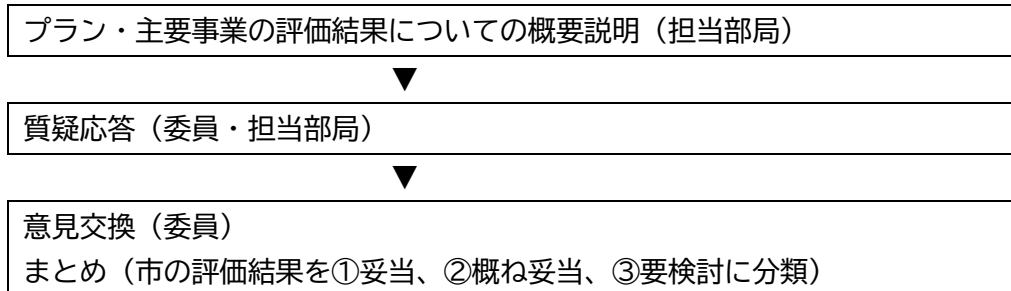
当日は、数分程度の概要説明のあと、ヒアリングをメインに行います。事前質問に則った質疑応答のあと、再質問を委員の皆様よりいただき、その回答を踏まえてプランの評価をしていただきます。

5. プランの評価（行財政評価委員会の会議で評価）

(1) 評価用資料

- ・ 内部行政評価結果「プラン評価シート」
- ・ 総合計画実施計画（シート構成上、「プラン評価シート」に含まれます）

(2) 評価の流れ



※これまでと異なり、事前に書面評価を行っていただいていることから、概要説明を短時間に抑えることで、対象プラン数を確保したいと考えています。

(3) 評価方法

①10年間の指標およびビジョンのめざす姿に対する達成度の確認

プラン階層での市の大きな方向性を確認するステップです。「プラン評価シート」の記載内容のうち、下記の点についてご確認ください。

- ▶ 「10年間の指標」、「令和〇年度の成果」欄の内容をもとに、市の現状分析が妥当であるか、現在の取り組み内容が施策の方向性と合致しているか等をご確認ください。
- ▶ 「今後の方向性」欄の内容をもとに、施策実現のため他に考慮すべき課題はないか、今後の市の方向性が妥当であるかを検証してください。

②内部評価及び事業の実施内容の妥当性の確認

内部評価及び具体的な事業の実施内容を検証するステップです。「事業指標の推移」、「項目評価・総合評価」の記載内容をもとに、下記の点についてご確認ください。

- ▶ 事業実績を評価するための指標を事業ごとに設定しています。プランを効果的・効率的に進めるため、プラン・事業の状況を正しく測定できる「指標」が設定されているかをご確認ください。
- ▶ 「項目評価・総合評価」欄の内容をもとに、施策を推進するために取り組んでいる事業が、プランの目的達成につながるものであるか、実施手法は妥当であるか等、ご確認ください。

③まとめ

①、②の議論を踏まえ、各プランの評価結果を「妥当」、「概ね妥当」、「要検討」のいずれかに分類してください。